

令和2年度 事業報告書  
(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

NPO 法人千葉県東葛地区・生と死を考える会

## 1 事業実施の成果

令和2年度は、3月から新型コロナウイルス感染拡大予防のために各事業の中止を余儀なくされる状況になりました。

法人としてはこのような状況でもできることをやろうと、集会をしなくとも活動できるリモートでの運営の基礎を築き（zoom 勉強会）、またホームページ・SNS 上では生と死に関する情報発信に努めました。

社会教育事業については、月例講演会を9月にリモートで実施、参加できなかった方には後日動画視聴をできるようにしました。その結果集会するよりも多くの参加がありました。またメモリアル・サービスは感染予防をした上で参加者は少ないながらも実施できました。ホスピスボランティア養成講座については新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

患者と家族を支援する事業については活動場所が医療福祉施設であること、また接触を要する事業の性質上中止の状態が続いています。しかしある施設ではこのような状況でもボランティア要請があり予防対策を徹底した上で活動再開が決定しています。また活動場所である病院施設へ感謝の意を込めて、医療用ゴム手袋を寄贈し繋がりが見える活動を行いました。残念なことです。緩和ケア病棟等が閉鎖され、ボランティア活動場所が減少したことがありました。

死別体験者を支える事業については、中止期間に限り電話相談を実施、そして病院内で行っている分かち合いを除いては6月以降感染対策をした上で徐々に活動を再開いたしました。引き続き上智大学グリーンケア研究所のグリーンケア人材養成講座受講生の実習を受け入れ、またグリーンケア従事者の該当者を認定しました。

広報・情報提供事業については、生と死に関する情報（新聞記事、web記事、本の紹介）をHPで紹介、ボランティアスタッフページ・グリーンケア従事者ページを作成、またニュースレターを作成しました。

## 2 法人運営

- ・第9回通常社員総会の開催 2/22
- ・理事会の開催 第16回 1/31 事業報告決算、修正事業計画・修正予算、定款変更、名誉会長・新理事長の件等
  - 第17回 5/22 事業の再開、こころの痛みの相談室の運営、グリーンケア従事者チラシ、ホームページのスタッフ募集
  - 第18回 12/26 事業計画予算、次期役員・世話人、仮決算
- ・会員向け zoom 勉強会（於：法人事務所） 8月～9月の計7回実施 23名参加

## 3 委員会の開催

- ・患者を支える会運営委員会 6回（オンライン5回）
- ・グリーンケア運営委員会 1回

## 4 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動にかかる事項

事業名	事業内容	実施日時等及び回数	実施場所	従事者 人数	受益対象者の 範囲及び人数
(1)生と死をめぐる社会教育事業	月例講演会	後述のとおり	麗澤大学及びリモート	各回 2人	後述のとおり
	メモリアルサービス (追悼音楽礼拝)	11月28日 14:00~17:00	キャンパスプラザ会員会館	9人	会員19人、会員以外2人
	デス・エデュケーションセンター相談室	随時	法人事務所	1人	不特定多数
(2)患者と家族を支援する事業	患者を支える会(患者とその家族に寄り添う活動) ※各グループでスタッフミーティングを3回~8回行う	月・水 14:00~16:00 金 10:00~12:00 17回	島村トータル・ケア・クリニック、島村洗心苑	2人/回	当地区のがん等の患者、延べ78人
		月(第2・4) 14:00~15:00 金(第1・3・5) 14:00~15:30 8回	旭神経内科リハビリテーション病院	3人/回	当地区の入院患者、延べ100人
		木(第1・3) 13:30~15:00 3回	栗ヶ沢デイホーム	4人/回	当老健の入所者、延べ37人
		(病棟)火 14:00~16:00 (在宅) 14:00~15:00 13回	柏市立柏病院	3人/回	当地区のがん等の患者、延べ97人
		水(第1・2・4) 14:00~15:30 6回	我孫子聖仁会病院	2人/回	当地区の入院患者、延べ19人
		金(第2・4) 14:00~16:00 3回	マザアスクアセンター在宅ホスピス南柏	3人/回	当施設の入所者、延べ24人
	医療用ゴム手袋 寄贈	12月末	島村トータル・ケア・クリニック、島村洗心苑	1人	600枚
			旭神経内科リハビリテーション病院	1人	800枚
			柏市立柏病院	1人	2000枚
			マザアスクアセンター在宅ホスピス南柏	1人	600枚
	(3)死別体験者を支援する事業	まんりょうの会 (自死遺族の語り合いの場)	第3日曜日 10:30~12:30 9回	法人事務所	3人/回
喪失体験者の集い		第3日曜日 13:30~15:30 9回	法人事務所	3人/回	柏市とその近辺 市民延べ43人
痛みの分かち合いの会		第1木曜日 13:00~15:00 9回	パレット柏、法人事務所	4人/回	柏市とその近辺 市民延べ59人

	遺族のためのグリーフ・ケア	第1水曜日 13:30~15:30 8回	柏市地域医療 連携センター	2人/ 回	柏市とその近辺 市民延べ25人
	こころの痛みの相談室	第2水曜日 13:30~15:30 8回	法人事務所	1人/ 回	柏市とその近辺 市民延べ14人
	子どもグリーフサポートの集い	偶数月第1日曜日 3回	法人事務所	6人/ 回	千葉県内から子ども延べ7人大人延べ2人
	こころの相談室	金曜日(祝祭日第5金除く) 14:00~16:00 4回	島村トータル・ケア・クリニック	2人/ 回	松戸市とその近辺 市民延べ4人
	大切な人を亡くした方の集い	第3月または火曜日 13:30~15:30 8回	守谷市保健センター	3人/ 回	守谷市とその近辺 市民延べ10人
	大切な方やご家族を亡くされた方の集い	第1金曜日 13:30~15:30 7回	流山野々下福祉会館	2人/ 回	流山市とその近辺 市民延べ54人
	ちばグリーフサポート	第2月曜日(祝祭日休) 14:00~16:00 6回	千葉市 Qiball(きぼーる)	5人/ 回	千葉市とその近辺 市民延べ50人
	グリーフサポート埼玉	第4日曜日(12月は第3) 13:30~15:30 2回	越谷サンシティ、越谷市民福祉センター	10人/ 回	越谷市とその近辺 市民延べ16人
	グリーフケア従事者資格認定	11月28日メモリアルサービスにて	キャンパスプラザ会員会館	2人	1人の認定者
	電話相談(コロナで本事業休止期間のみ)	4月11日~5月27日の土 20:30~21:30、日 20:30~21:30、月 14:00~15:00	会員自宅	2人	2人
(4)広報・情報提供事業	ニュースレターの作成	7月	法人事務所	10人	会員・市民他関連団体500人
	ホームページの更新 生と死に関する情報提供(ウェブ記事、新聞記事、テレビ番組の紹介、書籍の紹介)	20回	法人事務所	2人	会員及び市民
	Facebookの開設	ホームページの更新 状況を反映	法人事務所	1人	会員及び市民
	ホームページにてホスピスボランティアスタッフ、グリーフケアスタッフ募集	随時	法人事務所	1人	会員及び市民

※死別体験者を支援する事業にて、上智大学グリーフケア研究所のグリーフケア人材養成講座受講生の実習の受入を行いました。延べ20回で、延べ26人の参加がありました。

※月例会 14:00~16:00

日程	演題・内容	講師	実施場所	参加者人数
1月11日(土)	『死ぬ苦しみからの解放 がん専門治療医から終末期の緩和ケア医者となって』	<b>種村健二郎氏</b> (元国立がんセンター医長、浄土真宗東京ビハール会員、武蔵野大学仏教文化研究所客員研究員)	麗澤大学	会員 40 人 非会員 3 人
9月26日(土)	『家で死ぬということ』 —悲しが増えるということ—	<b>水野治太郎氏</b> (当会名誉会長)、 <b>島村善行氏</b> (島村トータル・ケア・クリニック理事長)、 <b>水野治久氏</b> (水野治太郎氏長男)、 <b>花岡直子氏</b> (ケアマネジャー)、 <b>小暮幸枝氏</b> (看護師)	Zoom によるリモート	会員 42 人 非会員 5 人 ※後日 youtube 視聴者 15 人